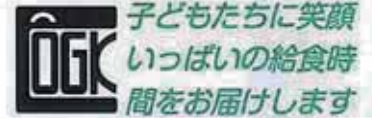


県学給だより

岡山県学校給食会会報



第 177 号
 平成 24 年 9 月 1 日
 編集発行
 公益財団法人 岡山県学校給食会
 岡山市南区浦安本町50番地の4
 TEL 086-263-6465(代)
 URL: <http://www.ogk.or.jp/>

第五十六回 岡山県学校給食 研究協議大会

平成二十四年
 七月三十一日(火) 開催



小田教育次長挨拶

能登原理事長挨拶

松永和紀

松永和紀



松永先生の講演

県内の学校給食関係職員等を対象とし、食育の推進と適切な調理の基本、調理技術等の充実を図るとともに、当面する諸問題について、学校給食関係者の資質の向上を図る研究協議大会を、コンベックス岡山で開催いたしました。当面する問題でもある、放射性物質と食品汚染について、科学ライターの松永和紀先生から放射線のリスクと子

どもへの影響、食品への影響など、情報の氾濫に私たちは戸惑っているが、食の報道におけるマスメディアの問題点に配慮し科学的根拠に基づいた適正な情報を収集して自分で判断する力をつける必要性について、分かりやすく講演をいただきました。

分科会については、食育推進部会・調理部会に分かれて、



田中先生の講義

講義をしていただきました。

①食育推進部会では、淑徳大学客員教授、前文部科学省学校給食調査官の田中延子先生から「食育の推進と学校給食の役割」について、国の食育基本法、学校における食育の推進、家庭における食育の推進などの話に加え、健全な心身を養い、豊かな人間性を育む食育を推進するために学校給食に課せられた諸課題を後退させず、充実させることの大切さの講義をいただきました。

②調理部会では、政木信昭ッキングスクール校長の政

当日の参加者は、過去最高の約八〇〇名で盛会となりました。



政木先生の実演

また、包丁さばきについても実演をいただき、好評でありました。



政木先生の講義

本信昭先生から、包丁の持ち方、調理法に合わせた材料の切り方、味付けの手順等調理の基本と、その基本を応用して大量調理におけるおいしさ、うま味を出す工夫について講義をいただきました。

「岡山県学校給食会」 学校給食情報展示会

七月三十一日にコンベック
ス岡山小展示場で「食育推進
に向けての提案」をテーマに
開催いたしました。

学習指導案展示コーナー

学校給食を「生きた教材」として
とした献立と学習指導案のパ
ネル（防災用献立やアレルギー
ギー対応献立を含む十二献
立）の展示をいたしました。
また内容を印刷した冊子を持
ち帰っていただきました。更
に、当日は前文部科学省調査
官の田中先生に作成者に対し
て指導案についての御指導を
いただきました。



パネル展示コーナー



学校における食育を
支援する食育情報を収
集したパ
ネルを展
示いたし
ました。

このパ
ネルは今
後、貸出
しも可能
ですので
御希望の



方は事務局まで御連絡くださ
い。
アレルギー対応食品コー
ナー
アレルギー
対応食品とし
て作成された
食品を展示
し、喫緊の課
題であるアレ
ルギーに対応
する食品の現
物を確認して
いただきました。

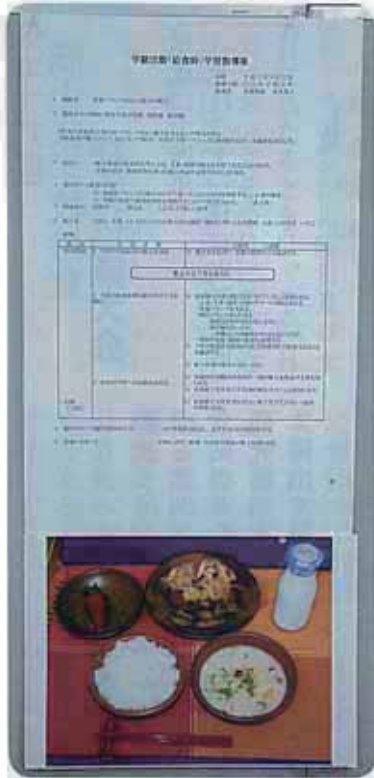


取扱物資展示コーナー

学校給食の運営を支援して
いる取扱い物資を展示し、食
育推進にむけての提案を行
いました。

新規提案食品コーナー

今後、岡山県学校給食会が
取り扱いを検討する物資の展



示を行い、アンケートによる
希望調査を行いました。



食育支援教材展示コーナー

学校給食における食育指導
資料として整備し貸出しを
行っている教材を展示し、貸
出品の実物を確認していただ
きました。

当展示会のアンケートによ

ると「新しい食品の発見が
あった」等の御意見もいただ
きました。「サンプルの持ち
帰りが見苦しかった」等の御
意見を多数いただきました。
サンプルの持ち帰りは以前か
らご遠慮いただいています
が、来年は、より御理解いた
だけるよう配慮してまい
ります。

第五十三回全国栄養教諭・ 学校栄養職員研究大会

東京都にて去る八月七日
(火)・八月八日(水)の二日間、
「栄養教諭を中核とした学校
における食育の推進」を全国
に広げよう食育の輪」を主
題として、第五十三回全国栄
養教諭・学校栄養職員研究大
会が開催されました。

開会に当たり、主催者であ
る文部科学省の平野博文部
科学大臣から、「新学習指導
要領により食育について明確
化し、学校給食による食育が
大切であること。東日本大震
災における給食の復帰に向け
て努力をいただいていること
に感謝申し上げます。

安心、安全の確保に最大限
の努力をしている。

栄養教諭の配置を一層の促
進する。」とあいさつがあり
ました。

次に、文部科学省から「学
校における食育の中核を担う
栄養教諭の役割」と題して説
明があり、つづいて「東京に
おける食育のすすめ方」「東
日本大震災時における栄養教
諭・学校栄養職員の果たす役
割」と題して実践発表があり
ました。

二日目は、六分科会が各会場に分かれて、各研究主題に沿った熱心な協議が行われました。

本会からの派遣者として、三名の方に参加していただき食育の推進・学校給食の充実方策等について研修を深めていただきました。



【派遣者】

- 岡山市立旭竜小学校 主任栄養技師 高見 陽子
- 総社市立総社西学校給食 共同調理場 学校栄養主任 渡辺 栄子
- 早島町立早島小学校 栄養教諭 光畑 和美

【感想】

次のような成果を持ち帰っていただきました。

東日本震災関連の発表を通して、平時から給食室はもちろん、避難所の問題や自治会との連携等の広い視野をもった危機管理や安全確保が必要であると感じた。実践発表を教訓に、災害時の訓練の実施を検討したい。

最新の国の動向に目を向けるとともに、スポーツ振興センター関連の各種のマニュアル、厚労省の食事摂取基準、調査や統計の手法や研修会等で得た知識を実践につなげられるようチャレンジしていきたい。

災害の少ないといわれている本県でも災害マニュアルの確認や訓練を行い、災害時に対応できるスキルを身につけ、災害時の体制、備蓄食料の被災地への提供などが円滑にできる体制づくりも検討したい。

食物アレルギーをもつ児童生徒の食の自律を目指す指導、スポーツ栄養指導における基本的な生活習慣、自己管理に向けた取組みも模索していきたい。

夏期研修会

平成二十四年度岡山県

特定給食施設関係者研修会

岡山県・岡山県給食協議会主催による「岡山県特定給食施設関係者研修会」が、八月一日（水）岡山市民会館において開催されました。

研修会に先立ちまして、長年にわたり給食の管理運営が優秀であった特定給食施設として岡山県保健福祉部長表彰を、医療法人さとう記念病院（勝田郡勝央町）が受彰されました。

当日は、岡山県保健福祉部生活衛生課主任吉家猛雄氏による「特定給食施設における食品衛生管理について」と東京医科大学第三内科糖尿病内分沁代謝内科教授植木彬夫氏による「食事や糖の流れと生活習慣病」の二題の講演がありました。受講者は一、〇七五名でこのうち学校給食関係者は、六二五名でした。なお、平成二十五年度の開催日は八月六日（火）、岡山市民会館を予定しております。

第四十三回学校給食共同

調理場夏期研修会開催

岡山県学校給食共同調理場連絡協議会【事務局 岡山県学校給食会】主催による「学校給食共同調理場夏期研修会」が八月二十七日、ピュアリティまきびにおいて開催されました。

この研修会は、県下の学校給食共同調理場の管理関係者及び栄養教諭・学校栄養職員を対象に、毎年夏期に開催しております。

今年度は、午前中に、人材活性プロデューサー渡邊小百合氏による「職場におけるコミュニケーション」と題しての講演がありました。

午後からは、「共同調理場における食物アレルギー対応について」をテーマにシンポジウムを実施しました。

シンポジウムでは、津山市立戸島学校食育センター 津高所長、竹内学校栄養主任、高梁市立高梁学校給食センター 徳田所長、田邊栄養教諭から各調理場における食物アレルギー対応について発表があり、活発な意見交換が行われ、有意義な研修となりました。

平成二十四年度優良工場視察

平成二十四年七月二十七日に岡山県学校給食地区連合会を対象とした事業として「学校給食用物資製造優良工場視察」を開催いたしました。

当日は三十三名の参加者と本会の役員五名で「アルファー食品株式会社本社工場（鳥根県出雲市）を視察してまいりました。

なお、工場ではアルファー化赤飯の製造工程、生産設備の説明、また、自動処理ラインを視察し、自動倉庫ではコンピュータ管理による人間の手を介さない製品の素早い入出庫等による衛生管理の行き届いた生産工程を確認してまいりました。



視察風景

平成二十四年度
学校給食関係
功労者表彰式を開催

平成二十四年八月十七日
(金)に「ビュアリテイまきび」
で功労者表彰式を開催いたし
ました。

本会では、多年にわたり学
校給食の振興に多大な功績の
あった者を表彰し、学校給食
の今後の充実発展に資するた
め、その職種の指導的立場に
ある、十四名を表彰いたしま
した。

おめでとーございます

被表彰者

- ・岡山市立箕島小学校
舟木 彩美
- ・岡山市立香和中学校
築岡 美幸
- ・岡山市立横井小学校
小林 志津子
- ・倉敷市立中洲小学校
畑本 渥子
- ・倉敷市立中洲小学校
犬飼 春子
- ・倉敷市立茶屋町小学校
高橋 須麻子

・総社市立総社東

学校給食共同調理場

加嶋 和子

・総社市立総社東

学校給食共同調理場

小西 和子

・総社市立総社東

学校給食共同調理場

堀 里美

・赤磐市立中央

学校給食センター

藤友 真弓

・真庭市立久世中学校

下尾 由紀美

・真庭市立湯原中学校

吉永 美貴子

・真庭市立落合中学校

好田 景子

・岡山県立鳥城高等学校

山口 てる美

(敬称省略)

委託加工工場調査の実施

七月二十日から七月三十日
にかけて、製パン委託加工工
場、炊飯委託加工工場、製めん
委託加工工場の全工場につ
いて、機械器具等の拭取検査
及び立入検査を実施いたしま
した。

A T P 拭取検査器具を使用
し、容器等を検査した結果、
基準値を上回っていた工場に
は、基準値を下回るよう洗浄
方法を指導し、日頃から衛生
的な状態を維持することの重
要性を説明することで、衛生
管理の徹底を図るとともに、
異物混入事故等の防止にむけ
ての指導を実施しました。

ことで、他の委託加工工場の
衛生管理の参考になるよう努
めました。
委託加工工場の衛生意識の
向上に繋がる、有意義な研修
会になりました。

食品検査

平成二十四年六月・七月の
食品検査実施状況は、表のと
おりです。

二三四検体の検査を実施
し、異常のないことを確認し
ました。

食品検査を実施することに
より、メーカーにも良い製品
を製造して、納品していただ
き、安全な物資の供給に努め
てまいります。また、一個当
たり(一食当り)の重量、表
示等のチェックも実施してい
ます。なお一層学校給食会の
取扱物資の御利用をよろしく
お願いいたします。

また、拭取り検査を学校給
食現場一ヶ所、委託加工工場
一四ヶ所実施しました。拭取
り場所の写真に考察を加えた
検査結果を該当施設に送付し
ました。これからの衛生管理
に役立てていただき、異物混
入等の事故防止、食中毒の発
生防止に役立てていただくこ
とを目的に行っております。

今後、学校給食関係功労者
表彰式は、八月十九日(食育
の日)に実施いたします。(た
だし、その日が日曜日及び土
曜日に当たるときは、その日
の前においてその日に最も近
い日曜日及び土曜日でない日
とします。)

平成二十五年度は、八月
十九日(月)に実施いたしま
す。

品目	品名	検体数	検査結果
乳製品	スキムミルク	1	異常なし
調味料	ウスターソース、香草ミックス、県学給カレールー、中味噌、赤味噌、ケチャップ国産トマト使用他	14	*
漬物	福神漬(小袋)	1	*
缶詰	レトルト	7	*
その他	常温物資	41	*
冷凍食品	赤魚切身、ミックスベジタブル、するめいか輪切(皮つき)、チキンハム、国産かぼちゃダイスカット、さば味噌煮他	128	*